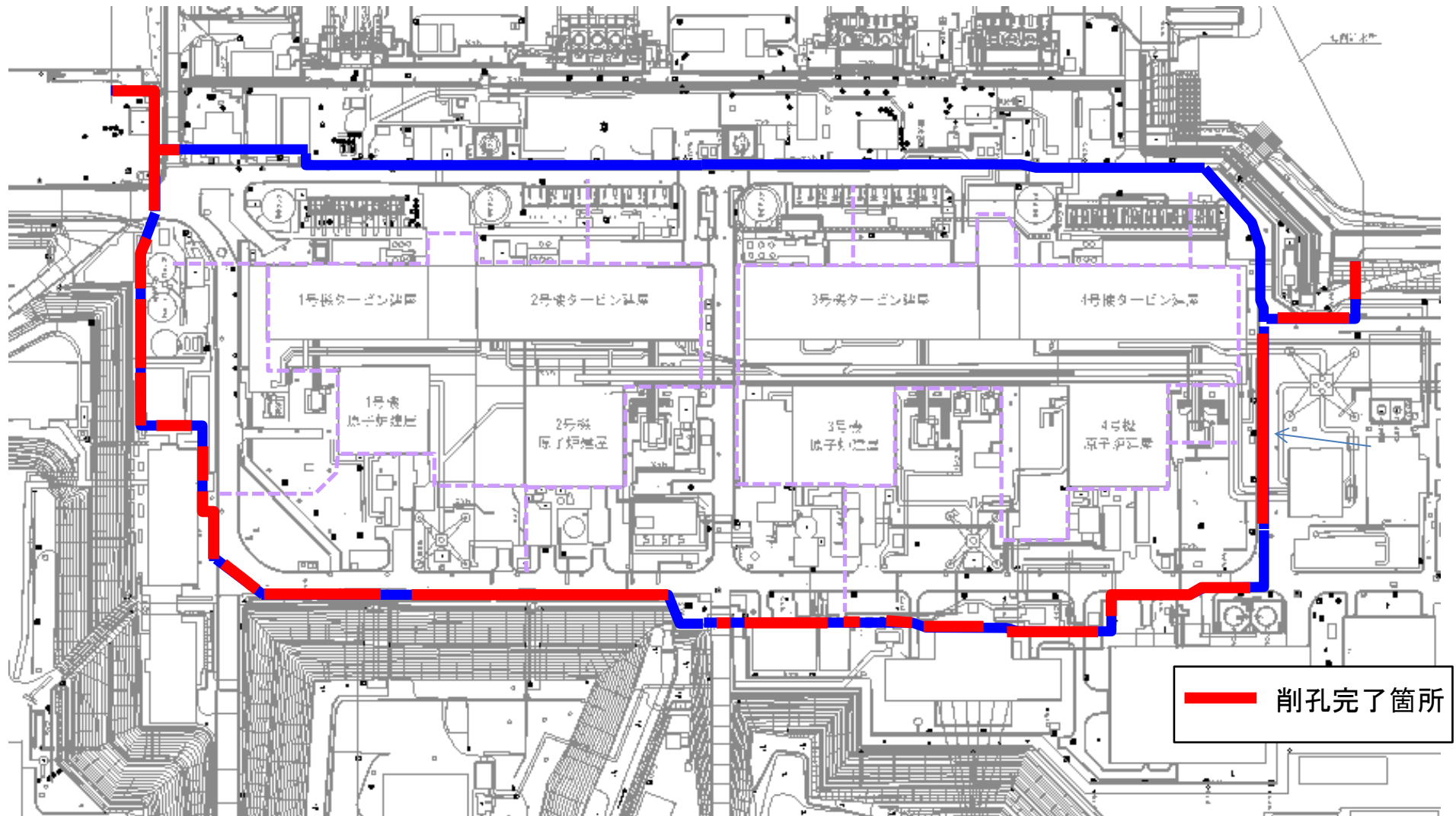


廃炉・汚染水対策に関する 国の取組

原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム
平成27年1月7日

凍土遮水壁の進捗について

- ◇昨年6月2日より本格施工に着手し、2014年度中の凍結開始を目指している。
- ◇平成26年12月23日時点で、凍結管設置のための削孔が1549本中、852本(約55%)完了。

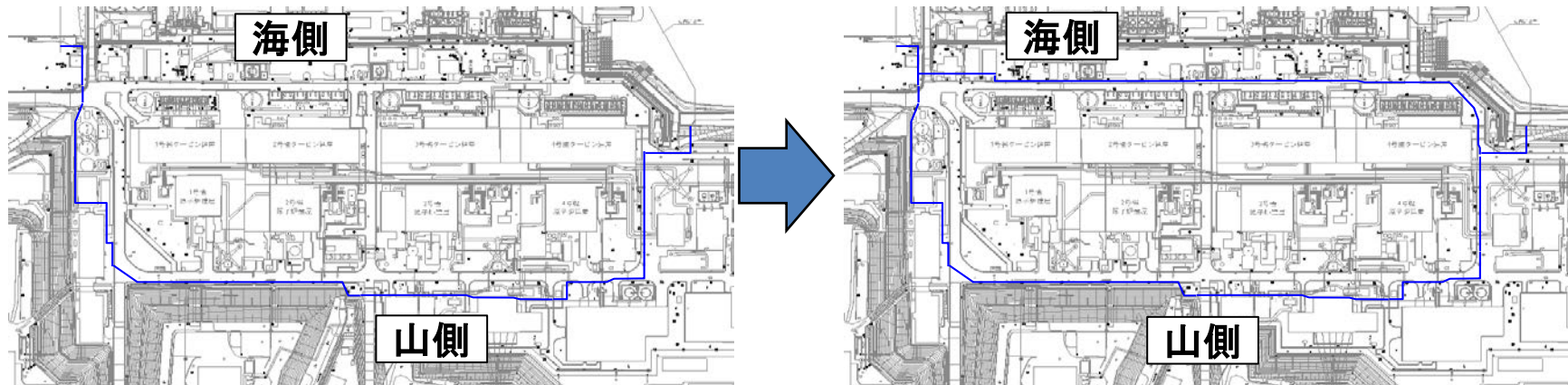


凍土遮水壁の閉合手順について

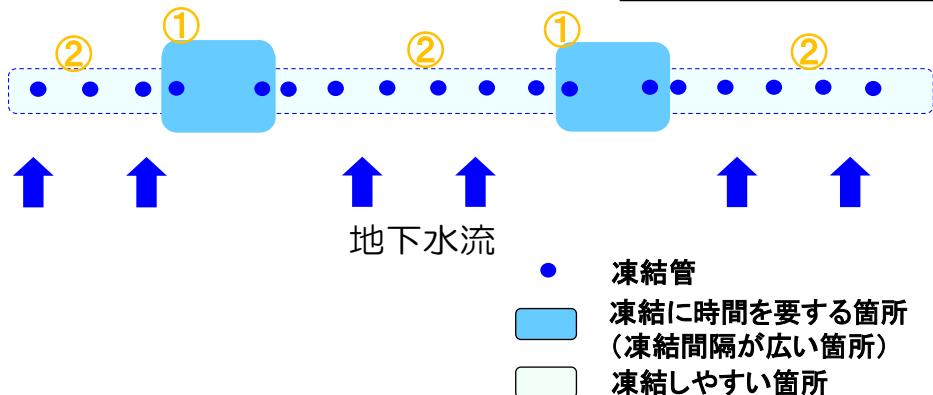
◇「建屋内への地下水流入量を最小限に抑える」かつ、「確実性の高い」凍土遮水壁の閉合手順を検討。

◇凍土遮水壁の閉合手順については、「海側よりも山側を先行して閉合」させるとともに、山側については、「凍結しにくい箇所を先行して凍結開始し、凍結しやすい箇所と同時閉合」させる。

山側先行凍結のイメージ



山側凍土遮水壁の凍結手順のイメージ



・凍結に時間を要する箇所(左図①)を先行して凍結開始し、凍結しやすい箇所(左図②)と同時に閉合させる。

※モニタリング(水位・温度等)の結果、凍結に時間を要する箇所が生じた場合は、補助工法を併用して凍結閉合を促進させる。

主な廃炉・汚染水対策の進捗状況

		対策	現在の進捗	
廃炉		4号機使用済み燃料プールからの燃料取り出し	1533体全ての燃料取り出しを完了(12月22日)	
汚染水対策	「取り除く」	多核種除去設備(ALPS:汚染水から放射性物質を除去する設備)による汚染水浄化	汚染水処理運転中 約24万m ³ を処理済み(平成26年12月23日)	昨年6月下旬以降、稼働率が改善
		増設の多核種除去設備(ALPS)による汚染水浄化		昨年9月17日より汚染水処理運転を開始
		より高性能な多核種除去設備による汚染水浄化		昨年10月18日より汚染水処理運転を開始
		建屋の海側にある地中トンネル(トレンチ)内の高濃度汚染水の除去	トレンチ内の高濃度汚染水を除去し、充填・閉塞する作業を実施中	
	「近づけない」	建屋山側の井戸から海へ排水(地下水バイパス)	昨年5月21日より運用開始 他の対策と合わせた、建屋への地下水流入低減効果は100m ³ /日(平成26年12月現在)	
		建屋周辺の井戸(サブドレン)から地下水を汲み上げ、浄化した上で、海へ排水	昨年8月20日から地下水の浄化試験を実施 関係者に説明中であり、関係者の御理解なしには排水しない	
		凍土遮水壁の設置	現地での試験施工を経て、昨年6月より工事着工、今年度末に凍結開始を目指す凍結管1549本のうち約55%の掘削が完了(平成26年12月23日)	
		地下水流入抑制のための敷地舗装	平成25年12月の原子力災害対策本部で決定、昨年1月より順次工事に着手 今年度末までの概成予定	
	「漏らさない」	タンク堰のかさ上げ、二重化	既設タンクエリア:昨年7月中旬に完了 新設タンクエリア:順次実施中 ※タンクの雨どい・堰カバーも順次設置 昨年10月の2度の台風でも一昨年の事態は発生せず	
		水ガラスによる地盤改良	昨年3月に完了	
		海側遮水壁の設置	9割以上の工事が進捗	
		タンクの増設	中長期ロードマップより2年前倒し 26年度内に80万m ³ 整備予定	